

平成 26 年度まちづくり懇談会会議録【河城地区】

日 時 平成 26 年 10 月 28 日 19:00～20:30
会 場 河城地区センター
参加者 70 人

※「菊川市 10 年の歩みと今後のまちづくりに向けて」と題した説明のあと、参加者の皆さまとの懇談（質疑応答）に入りました。

※会場からのご意見・ご質問

●10 年間のまちづくりを振り返っての所感・ご意見

●地区自治会長

人件費 30 億円経費削減の手ごたえは。

河城地区における行政サービスについては、地域支援課の対応に日頃から感謝している。河城地区は農村地帯だが、今後どのような施策を考えているか。若い世代が菊川に移り住むための具体的な施策は。

10 年、20 年先はどのような農業を進めるつもりか。儲かる農業とは。

○市長からの回答

合併から 10 年間の人件費削減効果目標額は約 30 億円。職員数を減らすなどして、合併時より人件費を削減してきた。途中経過だが、目標を達成できたと考えている。

現在、子育て世帯支援、市内企業への雇用について力を入れている。これまでも、放課後児童クラブの開設や待機児童の軽減、子育て支援センター設立、子育て手当や医療費補助などに取り組んできた。多くの人に菊川に住んでもらうために、今後も充実した子育て支援に力を入れていきたい。

近年の茶業の厳しさはよく理解している。消費地の拡大に一層取り組まなければいけないが、経営体をどのようにしていくか話をしている。儲かる農業について、地域特産作物の研究に取り組む団体を支援し、特産物のブランド化を図っている。

アンダーが開通したことで、駅北の計画を考えている。駅北口用の土地は市有地として確保した。河城地区での二つの道路工事もうすぐ完成する。今後も地域の利便性と産業発展について考えていきたい。

●今後のまちづくりに関しての意見

○安心安全について

●地区自治会長

市からの補助には日頃から感謝している。毎年の防災支援も充実してきていると感じる。

地域住民にアンケートをとったところ、個々の防災意識は低いようだ。市として、もっと踏み込んで住民の防災意識向上の後押し、被災しても命が助かるような対策を考えてほしい。

陳情になってしまうが、まだまだ未整備の通学路があり、危険。早く整備してほしい。

放課後児童クラブを現在 28 人が利用し、3 人の先生がついている。楽しんでいる様子。今後、他にも希望者が出てきた場合、受け入れが可能か教えてほしい。

全国での子供の誘拐事件、御前崎の若い女性の事件など、心配な情報も入ってくる。こちらにも気を配るが、市も防災対策を考えてほしい。

○市長からの回答

防災対策については、先日の訓練など、河城地区の防災への取り組みには大変感謝している。継続的に実施してほしい。おっしゃるとおり家庭での防災意識は十分でないといえる。市でも出前講座を用意しているので、ぜひ利用してほしい。先日の台風 18,19 号でもさまざまなご指導をいただいた。今後研究していくので、ぜひご協力いただきたい。今回、新たに被害が出た箇所もあると思う。市内でも、床下浸水など 30 箇所の被害が出た。どのような場所が、どのように危険な状況になるかは、地域の皆さんがよくご存知だと思う。ぜひ市の方に知らせてほしい。

防犯対策については、子供たちが事故に遭わないよう、道路整備は実施する。しかし、財源が限られるので全てを整備することはできない。皆さんと協議しながら通学路を優先して行いたい。共働き世帯が増え、放課後児童クラブの希望者は年々増加している。希望に沿えるよう努力したい。登下校では、スクールガードの皆さんの取り組みには大変感謝している。市内では 300 人の方が協力してくれている。下校後の防犯対策は難しく、市民の皆さんが協力してくださるのはありがたいが、万が一事故など起こると危険。警察、関係者、安全課と実施時間など協議していきたい。

●潮海寺 男性

潮海寺地域のまちづくりについて感謝している。先日の台風では、市内全域に避難勧告が出されたが、地域によっては避難指示しなくてはいけない場所もある。そのような情報を、住民と市で共有していかなければならない。住民、自治会が自助を意識していく時代。住民の情報を細かく盛り込んだハザードマップを作成するのが自分のまちを守る手っ取り早い方法。安全課はリーダーシップを発揮して、ぜひ早急に行動を起こしてほしい。

○市長からの回答

その通りで、今回避難勧告の出し方には苦労し、大変勉強になった。今までは河川水位を避難の基準にしていたが、1時間あたりの雨量が大変多かったため、19号では菊川への台風到着時間を逆算し、避難勧告などの時間を定める「タイムライン」という制度に変更した。地域の危険箇所が分かるのは地域の皆さん。避難場所など、それぞれで話をして自分で守る意識を引き続き持つてほしい。マップを自治会で作るか、市で作るかなど、今後考えていきたい。

●西富田 男性

災害後の情報収集の方法がはっきりしていない。河城地区は孤立しやすい地域。そのような地域の情報収集の体制作りは。

○危機管理部部長から回答

去年のまちづくり懇談会で挙げられた課題。基本は地区ごとに収集の方法を固めた上で、市に教えていただきたい。地域と地区センターを結ぶ方法として、各自治会に小型無線機をおく。しかし、場合によっては、伝令の可能性もある。

○地域医療について

●地区自治会長

現在の医師不足は、医師の負担増によるもの。コンビニ受診の意識を持つ患者にも責任があると思う。施策として進めるあかっちクリニックの受診状態はどうか。また、同院の津田先生が予防医療を提唱している。運動機能の衰えを少なくする「アクティビティセンター」についてどう考えるか。

○市長からの回答

菊川病院の医師不足は深刻で、コンビニ受診が医師にとって一番大変。ぜひ

皆さんに医師不足の現状をご理解いただきたい。県の医者数は、全国平均より 2 割ほど少なく、さらに中東遠では非常に少ない。県による修学研修資金制度がスタートして 5 年。もう 4,5 年すれば成果がでて、静岡県に残ってくれるかもしれないが、現時点では厳しい。あかつちの運営は順調。強みは在宅医療と、医師 5 人で 1 人の患者を診るチーム医療、総合医。

アクティビティセンターは、病気にかかる前に、介護が必要になる前に予防する健康管理施設。どのように介護を予防していくのか検討している。高齢化社会に感が無くてはならないこと。

○子育て支援について

●地区自治会長

力を入れている子育て制度はなにか。他市に比べての有意な点は。就学支援を受ける家庭が県でトップという記事を新聞で見たが、現在の状況はどうか。若い世代が住んでくれるような制度があったら教えていただきたい。

○市長からの回答

就学支援制度とは、経済的に大変な家庭に国・県の基準に菊川市がプラスして補助をしているもの。学費、給食費の一部を支援するもので、市としては手厚く支援をさせていただいている。学校や民生委員さんにも協力させていただいて支援している。

婚活については今年度、市制 10 周年記念事業で婚活イベントを企画している。テーマが「最強の恋愛術講座」。結婚の必勝法を早稲田大学の森川先生がお話しする。また、アエルで出会える婚活パーティも開催する。市だけでなく、社会福祉協議会でも相談を受けているので、ぜひご利用していただきたい。

●全体質問

●潮海寺 男性

地区での公民館で放課後児童クラブを運営してほしいという声がある。地域の力を利用していいと思う。地域で子育て支援にも取り組み、安心のすみよいまちになる。そういった方向でセカンドライフ実践までリーダーシップを発揮してほしい。

○市長からの回答

セカンドライフ、65歳以上の方にボランティアに参加してもらおう。地域にあったものを取り入れることで地域の活力を利用したい。

● 男性

吉田大東線のバイパス化で交通量が増え、児童の交通安全が心配される。横断歩道はできるのか。

○ 建設経済部長からの回答

12月19日に開通する。建設課をとおして公安委員会に確認し、連絡する。

● 男性

地元の情報がうまく伝わっていない。10年のもくろみとギャップはどうか。将来ビジョンはどうか。市は赤字倒産しないようにしてほしい。アイーネの順位が上がるようにするにはどうすればいいか。

○ 市長からの回答

この10年の取り組みは順調だと感じている。数値目標を立てて、達成されているものも多い。第二次総合計画の策定をこれからやっていく。再来年には市民にお知らせする。

○ 企画財政部長からの回答

10年間の進捗管理はまちづくり計画にそって管理している。全く手がつけられていないのは1件だけで、全体的には順調に進んでいる。現在の総合計画は28年度までで、毎年度進捗管理している。今年度から部ごとの目標を定めておりホームページにも掲載しているのでご覧いただきたい。